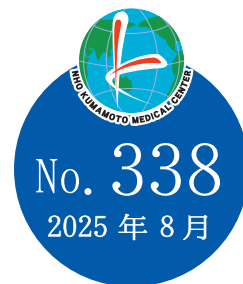


国立病院機構熊本医療センター

# くまびょうNEWS



ホテルの料理を目指した食事の提供！  
治療支援としての効果的な栄養管理！



## 特 集

### 栄養管理室のご紹介

- VOICE
- 医学シリーズ 消化器内科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、  
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター  
地域医療連携センター長  
菊川 浩明



096-353-6565  
096-353-6566

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

FAX 096-353-6563

独立行政法人国立病院機構  
熊本医療センター

National Hospital Organization Kumamoto Medical Center

熊本医療センター

検索

ホームページ QR コード▲



## 基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、  
良質で安全な医療を目指します。

## 運営方針

1. 政策医療の推進
2. 救急医療とがん診療の推進
3. 開放型病院による医療連携の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 健全経営

## 患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります



# 栄養管理室のご紹介

熊本医療センター栄養管理室は、今年度4月より2名の増員となり、栄養管理室長1名、副栄養管理室長1名、主任栄養士1名、管理栄養士9名（常勤8名、非常勤1名）の計12名と給食委託スタッフ約45名で運営しています。

栄養管理室では「医療人としての自覚を持ち、安全安心な食事の提供、積極的なチーム医療への参画による質の高い栄養管理を目指す」ことを理念として掲げ、日々の給食管理業務、臨床栄養管理業務に努めています。

食事提供の面では、行事食、選択メニュー、ワゴンサービスの他に、「ホテルのような食事をめざそう」をコンセプトとした「ひとてまプロジェクト」を継続しています。「ひとてまプロジェクト」は2018年開始から7年が経過しました。病院スタッフ、委託スタッフと連携し、「ひとてま」の工夫で味・見た目に美味しいホテルのような食事が提供できるようスタッフ一丸となって取り組んでいます。現在、院内他部署から公募した「自慢のソースレシピ」の中から厳選したソースをメッセージカードを添えて提供しています。

臨床栄養管理業務においては、病棟担当制としており、担当スタッフが専門的知識を持って患者の栄養管理支援を行っています。患者教育では、個人栄養食事指導の他に、多職種と連携して行う糖尿病教室、肝臓病教室、腎臓病教室にも参画しています。また、多職種と連携したチーム医療では、栄養サポートチーム（NST）、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、腎臓病透析予防チームにも積極的に参加し専門性を発揮しています。

当院では、今年度から摂食嚥下機能回復体制加算2を取得しており、摂食嚥下チームにおける管理栄養士の役割を果たしています。さらに今年度は、外来化学療法室での栄養食事指導、ICU・CCUでの早期栄養介入、周術期における栄養管理体制の拡充を図っています。

これからも病院スタッフ、委託スタッフと連携しながら、患者さまに満足していただける食事の提供、効果的な栄養管理に努めていきたいと思っています。



行事食：七夕



6/18 夏の糖尿病教室（食事会）



医療法人社団彩健会  
ハッピー眼科

院長 仲西 麻由子



#### ◆貴院のアピールをお願いします

皆様はじめまして。福岡出身の仲西麻由子と申します。

大好きな南阿蘇をドライブで訪ねた際に偶然出逢った原敬三先生の地域への想いに感銘を受け、私でお役に立てるならと、第二の人生に同地での新規開業を決意しました。

御高齢の患者さまが多い地域なので、送迎車や検査機器は複合機を揃え、移動の負担軽減を考慮しています。

雄大な阿蘇五岳を望む診療所で地域の皆様の心に寄り添い、明るく温かいクリニックを作りたいと願っています。そして、かかりつけ眼科診療所として微力ながらお役に立てれば幸いです。

#### ◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

スタンドグラスやDIY、ガーデニング等、数年単位でハマっていました。

コロナ禍からは大好きなアロマセラピーの素晴らしさを伝えるべく休日返上で講演やマルシェ等の活動をしていました。

博多弁で言う「のぼせもん」です。

今は豊かな南阿蘇の大地で美味しい野菜を育てたい！と小さな畑を作り始めました。

#### ◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

当院は人員、設備も最小限の眼科診療所です。手術等治療の際は既に貴院をはじめ、近隣の多くの先生方には大変お世話になっており、心から感謝しています。

今後ともお力添えの程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



#### 【診療科目】

眼科

#### 【診療時間】

平日 午前 9:00 ~ 12:00、午後 14:00 ~ 17:00  
火曜・金曜は午前のみ

#### 【休診日】

土曜・日曜・祝日

#### 【住所】

〒869-1411 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陰 3989-1

#### 【TEL】

0967-65-8022

#### 【HP】

<https://happyganka.com>

公式サイト





## 最近のトピックス

非アルコール性脂肪性肝疾患と  
非アルコール性脂肪肝炎について

国立病院機構熊本医療センター  
消化器内科部長

たてやま まさくに  
立山 雅邦


みなさまは脂肪肝というどのようなものをイメージされますか。健康診断で指摘されたことがある方もいるでしょう。脂肪肝はその名のとおり、肝臓に脂肪がたまった状態で、フォアグラをイメージされるといいでしょう。病気として認識されていない方もいるかもしれませんが、脂肪肝の中には、検査をして経過観察が必要な場合や時には積極的に治療を行う場合があります。



以前はアルコール多飲者の脂肪肝とアルコールを飲まない方の脂肪肝（非アルコール性脂肪性肝疾患 non-alcoholic fatty liver disease:

NAFLD）と大別し、NAFLD の中で肝臓の細胞の変性や線維化（後で述べます）がある場合は非アルコール性脂肪肝炎 (non-alcoholic steatohepatitis: NASH) とよんでいました。しかし、この分類では飲酒量が多少ある場合は分類できず、また糖尿病などの生活習慣病の影響が反映されませんでした。そこで 2023 年に NAFLD は代謝機能障害関連脂肪性肝疾

患 (Metabolic-associated steatotic liver disease: MASLD) に名称が変更され、飲酒の多いアルコール性脂肪性肝疾患 (Alcoholic liver disease: ALD)、その中間を MetALD と分類するようになりました。

この MASLD ですが、検査をして経過観察、時には治療が必要な脂肪肝があると述べましたが、一つのキーワードは「肝線維化」です。よく患者さまに「肝臓が硬くなっている」と表現している先生もいます。これは肝臓に炎症が長く続き、その回復過程で線維分が多くなり硬くなることを言います。やっかいなのは、硬くなったからといってすぐに何らかの症状が出るというわけではありませんので、検査をしないとわかりません。

硬くなっている事を疑うきっかけとしては、FIB-4 index という肝臓の酵素 (AST、ALT)、血小板の数、年齢で算出される簡易式があります。FIB-4 index は、熊本大学消化器内科を中心にすぐに計算できるサイトや相談窓口を設けていますので、ぜひご利用ください (熊本脂肪肝プロジェクト)。

これで高く出た人は要注意です。一度はかかりつけ医への相談、必要であれば、専門機関を受診することをお勧めします。当院では硬くなっているかの検査を、採血や腹部超音波検査、MRI で評価します。治療は、肥満や糖尿病などの生活習慣病を背景に抱えている方が多く、その是正が大事で、運動や食事の見直しなどが重要です。

FIB-4 index  
計算サイト


# くまびょう TOPICS

6/18 (木) | 季節の糖尿病教室を開催しました

栄

【筆者】管理栄養士：松熊 真由  
管理栄養士：藤井 祐那



6月18日に「夏の糖尿病教室」を開催しました。食事会では「料理の選び方を知りましょう」をテーマに、バイキング形式のお食事をご準備しました。今回は、旅行や花火大会などのイベントが増える季節に向けて、量やバランスを考えた料理の選び方を学んでいただけるようバイキング形式としました。主食はいなり寿司・おにぎりの2種、主菜は、肉料理2品・魚料理1品・卵料理1品の中から選んでいただきました。イベントでの料理の選び方として参考にしていただけたら幸いです。午後の講義では、他職種から病気や薬などの講義があり、管理栄養士からは「夏の食事を楽しもう」をテーマにクイズを織り交ぜながら、夏の食事の注意点や工夫をお話ししました。食事会含め参加者同士でお話ししながら、楽しい雰囲気になりました。栄養や治療への理解を深めるとともに、患者様の交流の場になっていましたら幸いです。

【場所】地域医療研修センター2F 研修室1・2



6/29 (日) | 第39回臨床薬理セミナーが開催されました。

薬

【筆者】試験検査主任：濱崎 翔平



令和7年6月29日(日)、地域医療研修センター及びWEB配信(Live)において、第39回臨床薬理セミナーが開催されました。

当セミナーでは「なにから伝える!?令和の糖尿病治療」を大きなテーマとし、株式会社九品寺ファーマセいら調剤薬局 廣田有紀先生、熊本医療センター 歯科口腔外科部長 中島健先生、熊本医療センター 糖尿病・内分泌内科部長 西川武志先生にご出席いただき、「こつこつやろう!糖尿病がある方への継続支援」、「歯科と糖尿病」、「糖尿病治療薬の進歩と課題」についてご講演をいただきました。糖尿病患者へのシックデイ対応等の医師と連携した継続支援について、歯科領域から考える糖尿病患者の注意点、糖尿病治療薬の歴史から最新治療や研究について学ぶことができました。

今回、11名(WEB参加90名)の先生方に参加いただきました。お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。

【場所】地域医療研修センター2F 研修ホール



医療安全管理室より

## 放射線科の「キラリと光る Good Job 報告」

医療安全管理室では、Safety IIアプローチの強化・推進に取り組んでいます。しかし、現場ではいまだに「インシデント報告＝ネガティブなもの」という印象が根強く残っています。

本来、インシデント報告は、患者さまと医療者の安全・安心を守るために、現場の課題や改善点を見つけ出す大切な手段です。今回は、放射線科から寄せられた、患者さまの安全を守るための「Good Job 報告」をご紹介します。

### 【放射線科の事例紹介】

#### ① 左右の確認で誤検査を未然に防止！

右下腿のレントゲン撮影依頼がありましたが、検査前に過去画像を確認したところ、実際に受傷していたのは左下腿でした。主治医に確認したところ、オーダーの左右が間違っていたことが判明。正しい部位に修正して、無事に検査を実施しました。

#### ② 紹介状の記載から検査内容を見直し！

検査前日にオーダーを確認したところ、A患者の依頼目的は「肺血栓塞栓症の疑い」となっていました。しかし、紹介状には「血尿があり、尿路腫瘍の検索依頼」との記載も。放射線科医師と循環器科医師に相談し、CT 撮影範囲を拡大して、より適切な検査を行うことができました。

### コメント：



放射線科では、患者確認・撮影目的・部位などを徹底して確認する「6R」の行動が文化として根付いており、日々、患者誤認を防いでいます。また、STAT 画像報告の活用により、タスクシフトも推進し頼りになる存在です。これからも、患者さまの安心・安全な医療のために、模範となる行動を示してくださると嬉しいです。



# 研修医レポート

## Medical Intern Report



### 臨床研修医

いくた はるや  
生田 晴哉



こんにちは。研修医1年目の生田晴哉と申します。熊本県出身で、熊本大学医学部を卒業後、今年4月から国立病院機構熊本医療センターで初期臨床研修をさせて頂いております。

研修のスタートは血液内科で、約8週間お世話になりました。血液内科は取り扱う疾患が多岐にわたり、病態も複雑で、初めは戸惑うことも多くありましたが、指導医の先生方の丁寧なご指導のおかげで、少しずつ理解が深まりました。特に印象的だったのは、化学療法のレジメンを考慮しながら全身状態を評価し、タイミングを見

極めて治療を進めていく姿勢で、血液内科の繊細かつ戦略的な側面に感銘を受けました。骨髄穿刺やPICC、感染管理なども経験し、教科書では得られない学びを多く得ることができました。本当に感謝しています。

現在は外科で研修しており、5週目を迎えています。手術の助手や術前・術後の患者管理に携わりながら、手術に臨むまでの準備や術中の連携、合併症への対応など、一つひとつの行動に明確な意図と根拠があることを肌で感じています。また、術後の経過観察や栄養・感染・疼痛管理など、周術期の全体的な流れを理解し、患者さまの全身状態を把握する重要性も学んでいます。手技の見学や実践を通して、自分自身の技術的な課題も明確になり、日々成長を感じられる研修となっています。

今後も各科での研修を通じて、知識と経験を積み、患者さまに信頼される医師を目指して努力してまいります。引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。

### 臨床研修医

まなべ こう  
眞鍋 幸



こんにちは。研修医1年目の眞鍋幸と申します。久留米大学を卒業後、4月から熊本医療センターで初期臨床研修をさせて頂いております。

初期研修のスタートとして、最初の8週間は循環器内科でお世話になりました。初めてのローターションということで、緊張や戸惑いもありましたが、先生方やスタッフの皆さまに温かくご指導いただき、少しずつ病棟業務や診療の流れに慣れていくことができました。

循環器内科では心電図の読影や心エコー、カテーテル検査の見学・介助、補助循環装置の使い方など、多くの経験を積ませていただきました。また、CV挿入やPICC挿入、胸水穿刺などの手技にも関わる機会が多く、実際に手を動かしながら学ぶ中で、実力が少しずつついていく実感がありました。自分ができることが増えていくことが嬉しく、日々の研修がとても楽しく感じられています。

とはいえ、まだまだ知識も技術も足りず、先生方や看護師さんにご迷惑をおかけすることも多いですが、失敗や反省も含めて全てが学びであると感じています。これからも、目の前の患者さま一人ひとりと真摯に向き合い、寄り添える医療を実践できるよう、一日一日を大切に、精一杯努力してまいります。今後ともご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

### 臨床研修医

ながた そういちろう  
永田 宗一郎



こんにちは。研修医1年目の永田宗一郎と申します。鹿児島大学医学部を卒業し、4月より国立病院機構熊本医療センターで初期臨床研修医をさせて頂いております。4月から始まった研修も気づけば3ヶ月が経ち、外科と救急科で勉強をさせて頂きました。外科では幅広い分野の手術を毎日見学し、手技も経験させて頂きました。外科の先生方はとても熱心で、初歩的なことから難しい内容までご指導頂きました。また、先生方からの紹介でハンズオンセミナーなどにも参加させて頂き、自分自身の今後のキャリアを考える機会にも巡り合うことができました。

外科の研修が終わると、次は救急科で6週間の研修が始まりました。

救急科では、救急外来で救急車とウォークインの患者さまのファーストタッチを研修医1年目が担当しています。毎日軽症から重症の患者さままで幅広い症例を経験できています。

分からないことはその都度先生にアドバイスをいただいたり、自分自身で調べる訓練をしています。教育熱心な先生方に支えられて、とても充実した研修を日々送っています。

まだあまり余裕もなく、目の前のことに必死に取り組む毎日ですが、右も左も分からなかった4月の自分を振り返れば、この3ヶ月で少しは成長できているのかなと思います。

教育熱心な先生方や2年目の先輩、ともに切磋琢磨できる同期がいること、そして恵まれた環境の中で研修できることをとても嬉しく思います。

今後も精一杯努力していきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



# 2025 年 8 月 研修のご案内

## 第40回 メディカルスタッフ のための人工呼吸セミナー

日時▶ 8月16日（土）8：50～16：20

場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

〈講演1〉呼吸生理の知識と血液ガスの見方

国立病院機構九州医療センター救命救急センター長

野田 英一郎 先生

〈講演2〉人工呼吸を要する各種病態とフィジカルアセスメント

久留米大学医学部医学科救急医学講座主任教授／久留米大学病院高度救命救急センター長

高須 修 先生

〈講演3〉スタッフが知っておかなければならない各種換気モードと特徴について

国立病院機構熊本医療センター診療部長・救命救急部長

櫻井 聖大

〈講演4〉一歩すすんだ呼吸管理法 ～医療安全・感染制御・PAD マネジメントの観点から～

山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学講座教授／医学部附属病院先進救急医療センター長

鶴田 良介 先生

## 第 69 回 熊 本 摂 食 ・ 嚥 下 リハビリテーション研究会

日時▶ 8月19日（火）19：30～21：00

場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「病院食と在宅での食事形態のギャップについて」

座長 リハビリデイサービス mama 代表 / 言語聴覚士

榎田 幸助 先生

講師 セントケア九州株式会社熊本事業部係長 / 介護福祉士 末廣 宏美 先生

## 二の丸モーニングセミナー

日時▶ 8月21・28日（木）8：30～9：00

場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

## 小児科火曜会【WEB 配信あり】

日時▶ 8月26日（火）19：00～21：00

場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修室 1

## 第211回 救 急 症 例 検 討 会

日時▶ 8月27日（水）18：00～19：00

場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「小児科救急疾患（小児科）」

研修へのお問い合わせはこちら

国立病院機構熊本医療センター

地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター

QR コード▶



患者さまをお待たせしないために

# ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565  
096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター  
地域医療連携センター長

菊川 浩明

令和7年8月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科			月		火		水		木		金	
総合医療センター (内科)	総合診療		辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水				
	血液		河北 樋口 敏郎 悠介	原田 田口 奈穂子 詢	河北 渡辺 敏郎 美穂	日高 道弘 河北 敏郎	原田 窪田 奈穂子 晃					
	糖尿病・内分泌		西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	渡邊 拓郎 (午前新患) 有園 功一 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 渡邊 拓郎 (午前再診)					
	呼吸器内科		熊大医師 (院内コンサルト)									
	感染症内科		小野 宏									
	腎センター	外来	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	畑中 利暉	小野 宏 梶原 健吾 中村 朋文					
		その他	C K D 外来	C K D 外来	C K D 外来		P D 外来 療法選択外来					
腫瘍内科		境 健爾	境 健爾 榮 達智	境 健爾 榮 達智	境 健爾 (2・4 週)	境 健爾 (1・3 週) 榮 達智						
消化器病センター (消化器内科)	診察	1 診	楠本 周平	杉 和洋	大賀 貴博	杉 和洋	立山 雅邦					
		2 診	松山 太一	立山 雅邦	花園 ゆりか	松山 太一	花園 ゆりか					
		3 診	源 和也	赤木 由理恵	富口 純	楠本 周平	富口 純					
		4 診			杉 和洋							
	内視鏡	午前 (～13 時)	立山 雅邦 富口 純 花園 ゆりか 大賀 貴博 赤木 由理恵	楠本 周平 花園 ゆりか 源 和也 松山 太一	松山 太一 楠本 周平 赤木 由理恵 大賀 貴博 源 和也	立山 雅邦 富口 純 大賀 貴博 花園 ゆりか	松山 太一 楠本 周平 赤木 由理恵 有紀子 貴博 大賀 貴博					
			午後 (13 時～)	立山 雅邦 花園 ゆりか 赤木 由理恵 大賀 貴博 富口 純	松山 太一 富口 純 楠本 周平 花園 ゆりか 源 和也 大賀 貴博	立山 雅邦 松山 太一 赤木 由理恵 源 和也 楠本 周平	立山 雅邦 富口 純 花園 ゆりか 源 和也 大賀 貴博 赤木 由理恵	松山 太一 楠本 周平 赤木 由理恵 大賀 貴博 源 和也				
		超音波室		杉 和洋	富口 純 大賀 貴博	立山 雅邦 杉 和洋	岡本 有紀子 赤木 由理恵	杉 和洋 源 和也				
		心臓血管センター (循環器内科)	新患	木村 優一 山村 智	有馬 義博 尾崎 凖志郎 (隔週)	片山 哲治	田山 信至	松原 純一				
	再来		田山 信至	松原 純一	山村 智	有馬 義博 尾崎 凖志郎 白尾 友宏	片山 哲治 木村 優一					
	(心臓血管外科)		手術日	岡本 健	田中 睦郎 (再診)	手術日	岡本 健					
精神・神経科		初めての方 2 回目からの方										
小児科	診察	水上 智之	興梠 雅彦	岡田 拓巳	水上 智之	渡邊 優						
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之							
	血液		興梠 雅彦 右田 昌宏			右田 昌宏						
	アレルギー		渡邊 優 (予約のみ)		渡邊 優 (予約のみ)	渡邊 優 (予約のみ)						
外科		中川 茂樹 日高 香織 (2・4 週)	水元 孝郎 松本 克孝 高津 研翔	岩上 志朗	宮成 信友 黒木 秀幸	久保田 竜生						
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	堀 遼太 大塚 忠弘	中川 隆志 伊東山 剛	舎川 健史 大塚 忠弘						
	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津川 貴博						
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津川 貴博	幸崎 弥之助	田北 智裕						
整形外科	午前	1 診	満瀬 葉介 (新患)	前田 智 (新患)		興梠 航 (新患)						
		2 診	福元 哲也 (新患)	福元 哲也 (新患)		中馬 東彦 (新患)						
		3 診	福田 和昭 (新患)	福田 和昭 (新患)		中瀬 啓太 (新患)						
	午後	1 診	興梠 航 (再診)	浅沼 涼平 (再診)	手術日	満瀬 葉介 (再診)						
		2 診	福元 哲也 (再診)	中瀬 啓太 (再診)		中馬 東彦 (再診)						
		3 診	福田 和昭 (再診)									
泌尿器科		前田 喜寛 担当医	菊川 浩明 鮫島 智洋 神尾 琢克伸	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 大輔 村上 米敏 栄敏	菊川 浩明 担当医						
産婦人科		高木 みか 瀬尾 優太郎	山本 直 坪木 純子 米田 征義	手術日	高木 坪木 瀬尾 純子 優太郎	山本 直 米田 征義						
感覚器センター (眼科)		渡邊 隆弘 中原 敦子 高田 遼	(手術日)	渡邊 隆弘 敦子 遼	(手術日)	渡邊 隆弘 敦子 遼						
感覚器センター (耳鼻咽喉科)		手術日	上村 尚樹	手術日	上村 尚樹	上村 尚樹						
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	山下 淳二	牧野 公治	稲葉 かずは	担当医 (手術日)	大溝 耕一郎						
	再診 (初診その他)	稲葉 かずは 山下 淳二	大溝 耕一郎 牧野 公治	山下 淳二 稲葉 かずは		牧野 公治 大溝 耕一郎						
形成外科		(午 後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 蓮田 敏也 室田 啓介 植田 遼子	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午 後) 大島 秀男 蓮田 敏也 室田 啓介 植田 遼子	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 蓮田 敏也						
放射線科		治療 (予約制) 画像診断	富高 悦司、大塚 崇裕 根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、大塚 崇裕、吉松 俊治									
麻酔科		宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)				(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)						
緩和ケア外来		境 健爾	境 健爾	境 健爾	境 健爾 (2・4 週)	境 健爾 (1・3 週)						
歯科 口腔外科		森 久美子 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 久美子 広祐 谷口 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野						
救命救急センター		櫻井 聖大 洪沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聡 久保崎 順子 吉村 文孝 深木 浩之 大本 寛之 松本 雪菜 笹尾 駿介 山本 亮	櫻井 聖大 洪沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聡 耕太郎 湧水 川口 湧水 大本 寛之 雪菜 駿介 山本 亮	櫻井 聖大 洪沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聡 浩之 文彦 深木 寛之 大本 雪菜 松本 駿介 山本 亮	櫻井 聖大 洪沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聡 克孝 浩之 松本 寛之 大本 雪菜 松本 駿介 山本 亮	櫻井 聖大 洪沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聡 浩之 大介 宮内 寛之 大本 雪菜 松本 駿介 山本 亮						
看護外来	ストーマ		認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師						
	がん看護	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師						
	移植後フォローアップ	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師						

(注) 担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合もございますので、御了承ください。

R7/8/1